

古写真でみる西南学院Part.I

◎会期／2011年12月13日(火)～2012年5月24日(木)

西南学院は2016年に創立100周年を迎え、本企画展は、過去の記録写真を紐解くことで、西南学院が歩んできた事績を紹介していくものです。

1916年、創立者C.K.ドージャーにより、福岡市大名町(現・中央区赤坂)に旧制男子中学校の「私立西南学院」が開校されます。1918年、「中学西南学院」と改称して早良郡(現・福岡市)西新町に校地を取得し移転、1921年には西南学院本館が竣工します。こうして、西南学院は今日まで脈々と西新地区に息づいており、旧西南学院本館の建物は大学博物館(ドージャー記念館)として、今日では親しまれております。

西南学院旧本館からの系譜をもつ建物の変遷を、本企画展を通じて、再認識していただければと思っています。また、今日まで学兄たちが培ってきた、学院の息吹を感じてもらえる機会になれば幸いです。



今回の特別展

大学博物館共同企画シリーズII
閉ざされた島 開かれた海 -鎖国のなかの日本
◎主催／西南学院大学博物館
◎共催／神戸大学海事博物館
◎会期／2012年6月2日(土)～8月4日(土)
◎会場／西南学院大学博物館特別展示室

古来より日本には海を通じていろいろな文物がもたらされました。四面を海で囲まれた島国日本は“海”と“船”とともに成長してきたといえます。本展覧会では江戸時代の海洋国日本を反映して描かれたもの。そして、当時の人びとが海や船に込めた想いなどを紹介します。海を介してからもたらされた文物・文化とは何かに焦点をあてます。なお、本展覧会は大学博物館共同企画シリーズとして、神戸大学海事博物館と共同しておこないます。



せいなんこどもワークショップ活動報告

9月17日

せいなんミュージアムカードをつくらう

学生ボランティアの解説で博物館を見学し、スケッチを行いました。贈る相手のことを思いながら、絵手紙のミュージアムカードを作ります。完成したカードには敬老の日に合わせて、おじいさんおばあさんに宛てたものが多く、博物館で学んだことや感じたことが描かれていました。



10月8日

みんなで仮装しよう! -ミュージアムでハロウィンを-

ハロウィンの歴史やお化けかぼちゃの由来について学び、仮装の衣装を作りました。それぞれに趣向を凝らした衣装で仮装をしたあとは、博物館でTrick or Treat体験です。現在もキリスト教文化圏で行われているハロウィンの風習を楽しみ体験しました。



12月10日

松ぼっくりでクリスマスツリー!

クリスマスツリーのオーナメントに込められた意味やサンタクロースの由来についての紙芝居のあと、松ぼっくりをもみの木に見立てたツリーを作りました。大小2種類の松ぼっくりを縄やスパンコールなどを用いて自由に飾りつけ、ツリーを完成させました。作業を通して、クリスマス文化に親しみをもってもらえたのではないかと思います。



3月3日

2000年前の生活体験 -勾玉(まがたま)をつくらう-

2000年前の人々の服装やアクセサリーについてのクイズ形式で学び、3種類の紙やすりで滑石を削って勾玉を作りました。完成まで約1時間半、みな黙々と集中して作業に取り組んでくれました。昔の人々の技術レベルの高さを学ぶことができたと思います。



行事予定

2012(平成24)年

【学内行事】

3月21日(水) 卒業礼拝
卒業証書・学位記授与式
4月2日(月) 入学式

5月15日(火) 学院創立記念日

5月31日(木) C.K.ドージャー先生記念日

【企画展／特別展】

2011年12月13日(火)～2012年5月24日(木)
古写真でみる西南学院Part.I
[場所]西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

6月2日(土)～8月4日(土)
閉ざされた島 開かれた海 -鎖国のなかの日本
[場所]西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

10月19日(金)～12月15日(土)
キリタン考古学の世界
[場所]西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

【講演会など】

4月1日(日)11:00～17:00〔予定〕
MI・らん・NE “明日に輝け!未来に翼ひろげるコンサートvol.5”
[場所]西南学院大学博物館2階講堂

5月26日(土)12:00～18:00〔予定〕
西南学院大学法学部主催講演会
[場所]西南学院大学博物館2階講堂

【せいなんこどもワークショップ】

3月3日(土)10:00～12:00
2000年前の生活体験-勾玉(まがたま)をつくらう-
[場所]西南コミュニティセンター

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM
〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/

●開館時間のご案内
開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]
入館料 / 無料

来館者掲示板

このはくぶつかんにきてみると、きょうかいのばしょがあって、そこでひいてあったてあしてひくのをひきたいと思いました。(2011/04/29 女の子 8歳)

—2階講堂にあるパイプオルガンのことかな?演奏が聴けたみたいでよかったですね。手と足でひいているのに気づくなんて、よく見えていますね!

はくぶつかんはいろいろものがあってすごたのしかったです。ありがとうございました。(2011/06 S・K・N 7歳)

—すみずみまでみてくれてありがとうみんながドキドキワクワクするような空間にできるよう工夫していきますね。

西南高校卒業生です。チャペルとてもなつかしかったです。つつい長居してしまいました。残っていてくれてよかったです。(2011/06/29 女性 20代)

—当館が開館した際も、「残っていてくれてよかった」という声をたくさんいただいたそうです。博物館が西南卒業生にとって大切な宝物となっていることは嬉しい限りです。

島原の乱のことや南蛮文化について中学生のころから興味がありました。島原の乱の小説を読み終わったばかりだったので、それに出てくる陣中旗や信仰の対象となっていた文化を実際に目にすることができてよかったです!「信仰とその証」展もみたかったです! (2011/07/02 女性 18歳)

—とても楽しんでいただけたみたいでよかったです。他の展覧会もみてみたいと感じていただけるよう努めてまいります。

今年度最後の「博物館ニュース」となりました。この1年間、たくさんのご来館者の方々からご意見やご感想をいただきました。ありがとうございます。今回は、そのなかで印象深かったものをご紹介します。今後もより開かれた博物館運営ができるよう、ぜひみなさんの声をお聞かせください。(博物館スタッフ F・Kより)



アクセスマップ ACCESS MAP



福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分
博多駅 → 西新駅下車 → 約12分
天神 → 西新駅下車 → 約8分
※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
博多駅バスセンター → 修猷館前 → 約35分
天神 → 修猷館前 → 約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分
福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 10 2012.3

◎西南学院大学



三位一体
[西南学院大学博物館所蔵]

特集 受容されたキリスト教 三位一体

博物館紹介◎ 博物館にあるふたつのスポット説明
企画展紹介 古写真でみる西南学院Part.I
所蔵品紹介 三位一体
大学博物館紹介◎ 日本女子大学 成瀬記念館
大学周辺情報◎ 西南学院と海岸～サザエさん発案の地

博物館にあるふたつのスポット説明

レンガ造りの建物
本館は、日本に残存する数少ないレンガ造りの
建物で、そのレンガの長い面と短い面

本学博物館の建築にあたって、西南学院旧本館を往年の姿に復元するため、設計図や古写真などをもとに実証的見地にたった調査がすすめられました。福岡市指定文化財でもある建物は内部構造を含めて非常に重厚感があり、赤レンガ造りであることも相まって、西新地区のランドマークとしても定着しています。この赤レンガ建築は、外からもみることができ

ますが、展示室内からは赤レンガの構造を間近でみる事ができます。壁板に小窓をつけて解説を加えた手法は、来館者の眼にも斬新に映るようです。本学博物館ではレンガの長い面と短い面を交互に積んだ「オランダ工法」がもちいられています。また、三階建ての建物は二階と三階の床下部分にコークス（石炭の燃え殻）が一面に敷かれています。これは防音のための措置ですが、当時の施工に創意工夫がみられます。レンガもコークスも地元から手に入れており、地域に根ざした様子もうかがい知れます。建物そのものが、貴重なためにその解説のあり方にも注目していただければと思います。



レンガ造りの建物



床下のコークス

【大学博物館紹介⑨】

日本女子大学 成瀬記念館

日本女子大学は、1901(明治34)年、成瀬仁蔵によって創立されました。創立者による教学の理念と学園の歴史を明らかにするために、大学の創立80周年の記念事業の一環として企画され、1984(昭和59)年に設立されたのが成瀬記念館です。

その建物は、赤レンガ造りの外観のみならず、内部における、校章をあらわすステンドグラスや学園の四季をイメージしたフレスコ画など、建築意匠の美しさが印象的です。

収蔵資料は主に創立者や学園史に関するもので、展示室では、創立者の生涯が紹介されると共に、ゆかりの品々が展示されています。展示室のほかに、記念室・瞑想室、図書閲覧室も設けられています。

1990(平成2)年には、博物館相当施設の認定を受け、学芸員課程の実習などが行われています。また、年4回ほど企画展が実施されるなど、学外にも開かれた活動がなされています。

博物館GP研究員 平川知佳

開館日 / 火曜日～土曜日
休館日 / 日・月曜日、祝日
開館時間 / 10:00～16:30(土曜日は12:00閉館)
お問い合わせ / 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
TEL 03-5981-3376



所蔵品紹介

三位一体 フィリピン／19世紀

受容されたキリスト教



三位一体とはキリスト教学の根幹をなす教義で、父なる神と子なるキリスト、聖霊が皆等しくて尊く、それらみっつの位階(ペルソナ)がひとつの実体・本質として完全に一致・交流することを意味しています。この作品のように横並びに描かれるこ



キリストをあらわす子羊



神をあらわす太陽



聖霊をあらわす鳩

とがおおく、雲のうえに左からキリスト・神・聖霊が位置しています。これをあらわすようにそれぞれの胸元には、キリストには子羊、神には太陽、聖霊には鳩が描かれています。また、キリストの手には十字架のときにうけた傷跡もみられ、神の左手には杖が握られています。この作品はある程度、教義を理解していないと描けない構図となっています。西洋から伝播したキリスト教がフィリピンでも確かに受け入れられていた様子がこの作品からも示されています。

学芸員の眼 — ワークショップ —

一昨年から子どもワークショップを行なっています。西南学院小学校ばかりでなく、西新界隈の小学校に通学する児童たちが参加してくれています。学校とは違った視点で、子どもたちの能力を引き出すことがこのプログラムの目的です。特別展期間中に行なうワークショップでは展示の内容をより理解してもらう一助として、これ以外の時期に行なうものについては、博物館展示活動の理解を深めてもらうような内容にしています。また、これを支えているのは本学

学生のボランティアです。参加することもたちのお姉さんのように接してくれて、私たちのサポートをしてくれています。ボランティア学生のきめ細やかな気配りなど、保護者からも好評です。博物館を拠点とした“博物館人”による取り組みを今後も広げていきたいと思ひます。そして、このワークショップに参加してくれた児童たちが、のちに西南学院に入学してもらえることを祈念しています。

博物館学芸員 安高啓明



船のペーパークラフトをつくろう(6/25)



せいなんミュージアムカードをつくろう(9/17)



松ぼっくりでクリスマスツリー!(12/10)

博物館通信

2011年12月から2012年3月までに行なった博物館活動や出来事のなかからいくつか紹介します。

2011年12月10日、子どもワークショップ「松ぼっくりでクリスマスツリー」を行ないました。

2011年12月13日から古写真でみる西南学院Part.Iを開催しています。(2012年5月24日まで)

2011年12月、本学博物館の安高啓明学芸員が単著「新釈犯科帳」(長崎文献社)を刊行しました。

2012年2月16日、本学神学部小林洋一教授の最終講義が行なわれました。

2012年3月3日、子どもワークショップ「2000年前の生活体験—勾玉(まがたま)をつくろう—」を行ないました。

2012年3月、本学博物館の高倉洋彰館長が共編『大学的福岡・博多ガイド—だわりの歩き方—』(昭和堂)を刊行しました。



<松ぼっくりでクリスマスツリー>



<ワークショップの成果展示>



<古写真でみる西南学院 Part.I>



<小林洋一教授最終講義>



<2000年前の生活体験—勾玉をつくろう—>

スタッフの声

3月3日に行われた、「2000年前の生活体験、勾玉をつくろう」で12回目を迎えた子どもワークショップには、初日から現在まで多くの子どもたちに参加していただいています。当初から欠かさず来てくれる子、新たに参加してくれる子どもたちにも楽しんでいただけるような企画を、学芸員の方々が工夫を凝らして考え、準備を下さっており、学生ボランティアの私たちが毎回小学生と一緒に楽しく遊んでいます。子どもワークショップでは学校とは違い、子どもの自主性がより一層育つのではないかと考えています。みんなでそれぞれ物を作るようなときは、同じものは1つも出来ません。子どもたちがどうやれば思った通りに出来るのか、と自分で試行錯誤している姿はとても活き活きとしています。たまに上手いはずに投げ出す子もいますが、そのようなときに私たちがフォローしてあげています。そしてその結果、出来上がったものを見て、その斬新なアイデアや作業の細かさなどいつも驚かされます。

昨年震災によって悲しい思いをした子どもたちが多くいたと思います。皆さんにとっても、遠い福岡という土地にいてもいつ何が起るかわからないということを感じさせられた出来事であったのではないのでしょうか。かけがえのない大切な日々をとにかく楽しく、ひとつでも多く笑って過ごせるように、これからも子どもワークショップではより良い時間を提供していきたいと思ひます。

商学部経営学科4年
学生ボランティア 山口歩美

〔大学周辺情報⑩〕
西南学院と海岸 (サザエさん発案の地)
西南学院小学校前の交差点に「サザエさん発案の地」のモニュメントがあります。漫画「サザエさん」は、原作者の長谷川町子さんが、戦時中、西新に疎開していた時に発案し、1946年に福岡の「夕刊フクニチ」で連載がスタートしました。現在は、1982年からの埋め立てによって、よかトピア通りより先のシーサイドもも地区が造成されていますが、当時はキャンパスのすぐ近くまで「百道海岸」と呼ばれる海岸が広がっていました。「サザエさんうちあけ話」9話には西南学院が登場しており、「西南学院」の門扉や現在もキャンパス内に残る松原も描かれています。



臨時職員 本学大学院国際文化研究科
博士前期課程研究生 中松沙織